



プレスリリース
報道関係者各位

調理ロボットの TechMagic が味の素(株)と協業を開始

～テクノロジーと「おいしさ設計技術」で、誰にとっても健康でおいしい料理を提供する調理ロボット開発を目指す～

2021年10月14日

テクノロジーによる持続可能な食インフラの創造に取り組む TechMagic 株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：白木裕士、以下「TechMagic」）は、味の素株式会社（本社：東京都中央区、社長：西井孝明、以下「味の素(株)」）とおいさと健康を両立した調理ロボットの実現を目指し協業を開始します。

誰にとってもおいさと健康を両立する 調理ロボット

Eat Well, Live Well.



「おいしさ設計技術」・独自性のある調味料

- レシピ設計
- 嗜好性分析、官能評価



TECHMAGIC
Challenging the Next Impossible.

人工知能の機械学習を搭載した調理ロボット

- レシピのデータ化/プログラム化
- 注文アプリと調理ロボットの連携

味の素(株)が「食と健康の課題解決企業」を目指すために 2020 年 12 月より開始したアクセラレータープログラム「Ajinomoto Group Accelerator」に TechMagic が採択されて以降、食の未来を創造する調理ロボットの開発を進めて参りました。上記プログラムを通じて、TechMagic の調理ロボット技術と味の素(株)の調味料をベースとした「おいしさ設計技術」の連携・活用を進め、新たな食の価値創造に取り組むことで合意し協業基本契約締結に至りました。

今回の協業ではこれまでの成果を踏まえ、まず中華料理をはじめとした様々な炒めメニューが提供可能な調理ロボットの共同開発から着手します。TechMagic の人工知能の機械学習を搭載した調理ロボットと味の素(株)の「おいしさ設計技術」を活用したソリューションを組み合わせることで、大量調理では難しい多様化する生活者のニーズにお応えし、さらに外食産業の課題である人手不足や食品ロスなどを解決します。将来的には個々人の嗜好、必要な栄養に合わせたパーソナルな料理を提供可能にすることで、グローバルに展開可能な調理ロボットを開発していきます。



今後も食産業を取り巻く様々な課題に対して、ハードウェアとソフトウェアを高度に融合したソリューションを提供することで「テクノロジーによる持続可能な食インフラを創る」ことを目指してまいります。

■ TechMagic 株式会社 会社概要

社名: TechMagic 株式会社

本社: 東京都江東区青海 2-5-10 テレコムセンタービル西棟 13 階

設立: 2018 年 2 月

代表者: 代表取締役社長 白木 裕士

URL: <https://techmagic.co.jp/>

TechMagic は、「テクノロジーによる持続可能な食インフラを創る」ことをミッションとして、2018 年 2 月に設立。食を取り巻く多くの企業が直面する人手不足を解消し、生産性の高い社会を実現するために、ハードウェアとソフトウェア両方の技術を高度に融合した各種プロダクトの企画、設計、製造、販売、保守を行っています。

■ TechMagic 株式会社 事業内容

1. 調理ロボット事業

主に大手外食チェーン店の厨房内における一連の調理工程を、ハードウェアとソフトウェア両方の技術を高度に融合して自動化します。料理の味やおもてなし品質はそのままに、調理工程に付随する人件費を抑制し店舗生産性を高めます。業務軽減でなく、スタッフ一人単位の省人化を既存店舗でも導入可能なコンパクト且つ高効率なプロダクトで実現。顧客の用途に応じ、幅広い調理方法・提供プロセスに対応します。

2. 業務ロボット事業

セントラルキッチンや食品工場等で発生する、洗浄後の食器仕分け・不定形物を含む食品の定量盛付等の単純作業をロボットにより自動化します。これにより、業務軽減と労務費用の削減だけでなく、施設業務全体のスループットを最大化し生産性向上に貢献します。

【本件に関するお問い合わせ】

TechMagic 株式会社 広報 杉山

pr@techmagic.co.jp